

公益財団法人 ノバルティス科学振興財団  
2022年度(第36期)事業報告及び決算等  
(2022年4月1日～2023年3月31日)

当財団は1987年9月4日文科大臣の認可の下に設立され、2012年4月1日内閣府の認定の下に公益財団へ移行した。設立以来公益事業を行っており、2022年度(第36期)の事業状況、庶務概要及び決算等は下記の通りである。

## I. 事業状況

### 1. 第36回ノバルティス研究奨励金助成

生物・生命科学、関連する化学および情報科学の領域において、我が国で行われる創造的な研究の助成が目的である。国公私立大学、研究所、附属病院の機関長及び財団理事、評議員等612名に候補者推薦を依頼し、245件の推薦を得た応募があった。選考委員会にて候補先39件(別途、次点者2名)が選定され理事会で決定した。贈呈金額は1件100万円である。総額3,900万円が2023年4月に贈られた。採択倍率6.3倍。贈呈先は添付の通り。

### 2. 研究集会助成

生物・生命科学、関連する化学および情報科学の領域において、我が国で開催される国際色豊かな研究集会の助成が目的。

2022年度集会助成贈呈者が17件の公募案件から、選考委員会にて候補先5件(別途、次点者1件)が選定され、理事会で決定した(採択倍率3.4倍)。贈呈先には1件40万円、総額200万円が2023年4月に贈られた。贈呈先は添付の通り。

### 3. 財団年報の発行

財団活動への理解と支援を広げるため、年報を電子媒体(CD)で150部、入選者には製本版47部を作成し、助成対象者及び関係者に配付した。年報には、第34回(2020年)度研究奨励金授与者の成果報告、2020年度研究集会の報告、及び財団の活動状況等を収録し、ホームページにも掲載して一般の閲覧に供した。

## II. 庶務概要

### 1. 理事、監事、評議員、選考委員に関する事項

2023年5月1日現在の理事、監事、評議員、選考委員は添付の通りである。

### 2. 理事会、評議員会及び選考委員会に関する事項

#### 1) 第30回理事会(2022年5月24日)第一ホテル東京4階コスモスにて実施

理事数5: 出席者(定足数3): 理事4名、監事1名

第1号議案 2021年度事業報告及び決算の件

第2号議案 2022年度選考委員の退任及び選任の件

第3号議案 2022年度研究奨励金、研究集会助成応募要項確認の件

第4号議案 飲食に関する規定について

第5号議案 第15回評議員会の開催の件(2022年6月15日15時～)

報告事項: 職務の状況報告(代表理事)、研究奨励金、研究集会助成の成果報告

2) 第15回評議員会(2022年6月15日)第一ホテル東京4階フローラにて実施

評議員数10(定足数6): 出席評議員9名

第1号議案 2021年度事業報告及び決算の件(原案承認)

第2号議案 理事選任の件(原案承認)

第3号議案 議事録署名人選任の件(原案承認)

報告事項: 1. 2022年度事業計画及び予算の件  
2. 2022年度選考委員退任及び選任(新任・再任)の件  
3. 2022年度(第36回)ノバルティス研究奨励金・研究集会助成応募要項  
4. 2017～2020年度(第31～34回)研究奨励金・研究集会の助成成果報告

3) 第31回理事会(2022年6月15日: みなし決議)

理事数5(定足数3): 決議に参加した理事数: 5名

決議事項 代表理事の選任(原案承認)

4) 第11回選考委員会(2022年12月16日)東京會館LEVELXXIにて実施

選考委員数20(定足数11): 出席選考委員16名

第1号議題 2022年度(第36回)ノバルティス研究奨励金助成先の選考(37件及び補欠4件)

第2号議題 2022年度研究集会助成の選考(5件及び次点1件を選択)

5) 第32回理事会(2023年2月13日)東京會館丸の内本館7階アイリスにて実施

理事数5: 出席者(定足数3): 理事5名、監事1名

第1号議案 2022年度(第36回)研究奨励金、集会助成の贈呈先の件(原案承認)

第2号議案 2023年度事業計画・予算の件(原案承認)

第3号議案 2023年度研究奨励金募集指定推薦先の更新について

第4号議案 2023年度選考委員の改選方針について

第5号議案 選考委員会運営規程の改訂について

報告事項: 職務状況の報告(代表理事)、内閣府の立入検査結果について

3. 寄附金に関する事項

ノバルティスファーマ株式会社から一般寄附として総額4,000万円を受け入れた。(2022年4月)

### Ⅲ. 決算報告(2022年度)

経常収益は、基本財産、その他財産の運用益がそれぞれ1,744万円、65万円であり、寄付金4,000万円を加えた経常収益計は5,810万円であった。経常費用は、事業費が5,140万円、管理費が395万円であり、合わせた経常費用計は5,535万円であった。事業費は経常費用の92.9%、支払助成金4,100万円は事業費の79.8%を占めた。なお、事業費は59万円の黒字であった。

当期正味財産合計額は11億6,488万円であり、前期より274万円増加した。

なお、2022年度中には、当初の計画通り、資金調達や設備投資は行わなかった。